

資料 1

天敵農薬の環境影響評価

情報調査

天敵生物に関する情報

- a. 分類学上の位置づけ
- b. 原産地、分布等
- c. 地域個体群の分布（国内生息種）
- d. 生物学的特性
 - ・ 生態特性〔生息場所、繁殖特性（生殖様式・能力）、寄生・捕食習性、発生時期〕
 - ・ 越冬の可能性（温度耐性、休眠の有無）
 - ・ 他の生物との相互作用（寄主範囲、捕食範囲、競争種、食物網）
 - ・ 上記を踏まえた生活史
- e. 野外での生存・増殖能力を制限する要因
- f. 諸外国における登録等に関する資料（導入種）
- g. 諸外国で導入後に生じた問題事例（導入種）

標的害虫・雑草に関する情報

- a. 経済的重要性（被害の程度）
- b. 標的害虫・雑草の防除による便益
- c. 既存の防除法
- d. 地理的分布及び生息域
- e. 標的害虫の寄主植物等
- f. 野外での生存を制限している要因
- g. 導入天敵による防除の効果
- h. 標的害虫・雑草の天敵相

非標的生物種に関する情報

- a. 希少種、導入天敵の近縁種、標的生物の近縁種、土着・既存天敵、キーストーン種、シンボル種の有無
- b. 天敵により負の影響（寄生、捕食、競争）を受けうる非標的生物種の分布、生息場所、発生消長、生活史

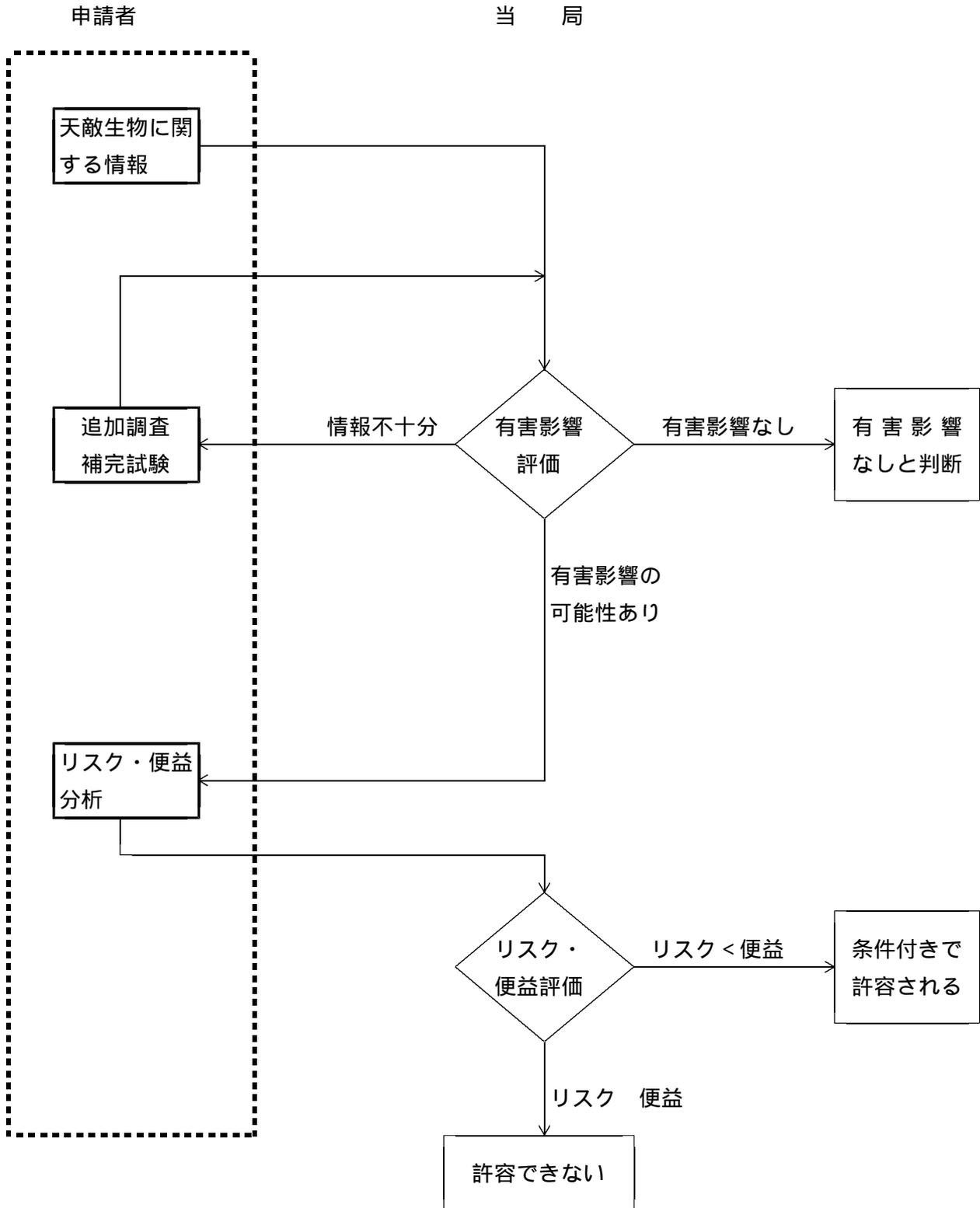
天敵生物の生態学的影響の分析に関する情報

- a. 非標的生物及び環境一般に起こりうる潜在的な影響要因の特定およびリスク分析
- b. 天敵の放飼方法、放飼場所

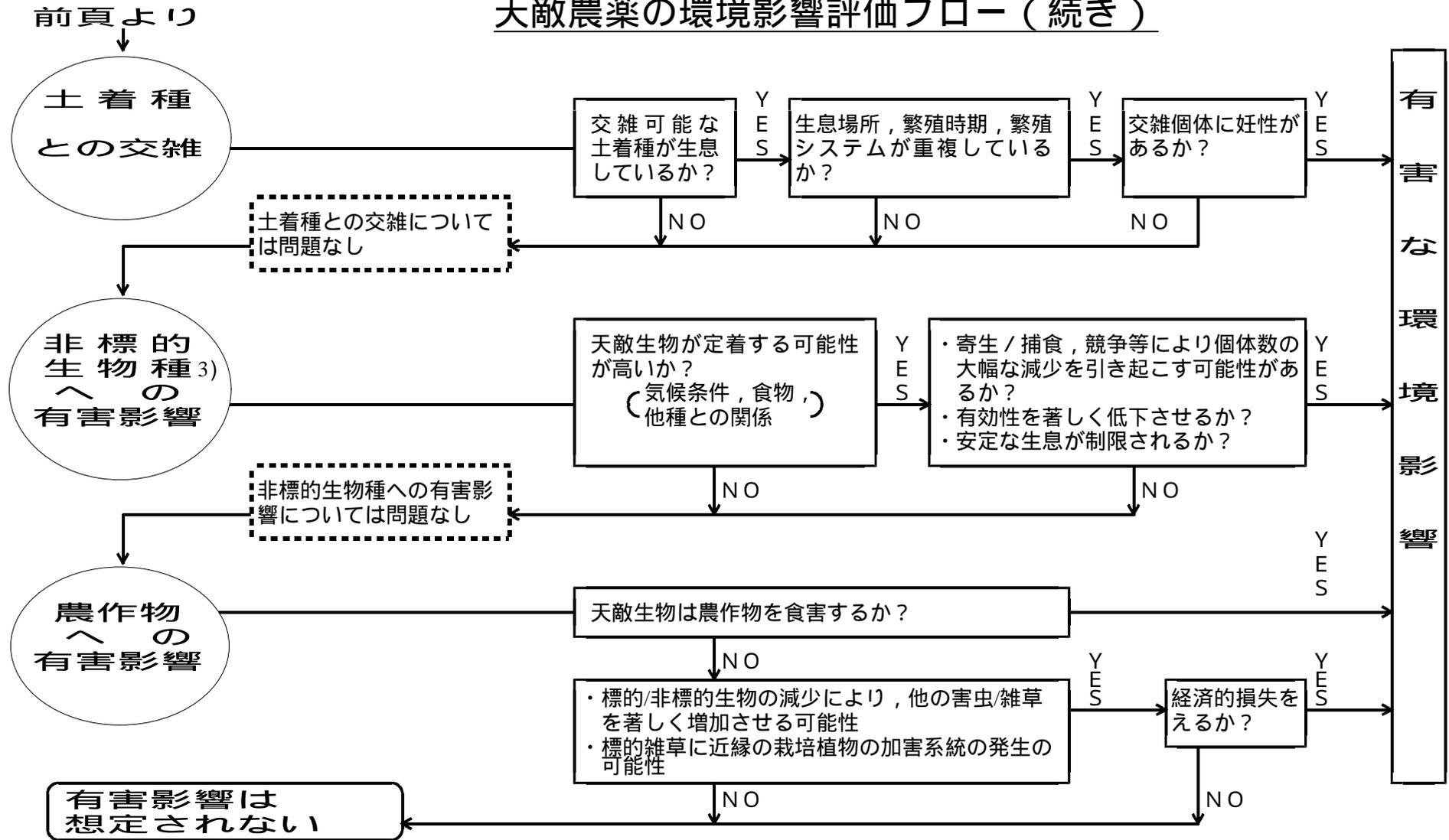
その他関連する項目

- a. 天敵の増殖および管理方法
- b. その他

天敵農薬の環境影響評価の体系



天敵農薬の環境影響評価フロー（続き）



3) : キーストーン種, シンボル種等, 土着天敵, 既存天敵を含む。キーストーン種とは群集における生物間相互作用と多様性の要をなしている生物種である。キーストーン種としては上位の肉食動物や大型の草食種などが知られている。シンボル種とは, トンボやホタルのように, 希少種ではないが, 親しみを持たれているなどの理由で保全が望ましい, あるいは地域的な保護の対象となっている種。

